

再生産できる価格を

輸入自由化ストップ

農業再生へ 力をあわせよう

いまこそ



日本共産党

農政を大本から転換し

安心して農業にはげめる農政へ

生産コストが上がっているのに農産物価格は軒並み暴落…。「このままでは農業をやる人がいなくなる。政治の責任で、農業が成り立つようにしてほしい」。みなさ

んの願いは当然です。

輸出大企業の利益を第一にして、食料を際限なく外国にゆだね、農業をつぶしてきた古い政治を大本から転換し、日本共産党は、下記を主な柱とする新たな農政の確立をめざします。

農

産物の価格保障・所得補償を本格的に充実する。当面、米価は両方で1万8000円(60^キ□)保障する。

輸

入拡大を進めるWTO農業協定を見直し、各国の食料主権を保障する貿易ルールの確立を求める。日米FTAや日豪EPAに反対。

政

府備蓄米の買入れを増やし、米価を回復する。畜産・果樹・野菜の価格対策を強化する。

三

ニマム・アクセス米の“むりやり”輸入を中止する。

共産党の
農政提案

「われわれの目指す方向と まったく同じ」

全中代表

全中(全国農協中央会)の専務は、日本共産党第25回大会に来賓として出席、「大会決議案にある、各国の食料主権の確立などはわれわれの目指す方向とまったく同じ、心強い限り」と会長あいさつを代読。

いま、農協・農業関係者と日本共産党との対話や共同が各地で広がっています。自公政権が退場し、農家や国民の願いを政治に反映させるチャンスです。いまこそ、農業を再生する農政の実現にむけて力をあわせようではありませんか。



党大会で志位委員長(左)と握手する全中・富士専務(2010年1月14日)

しん
ぶん 赤旗
購読
申込書

○ 印をおつけください

● 日刊 月2900円 ● 日曜版 月800円

お名前

住所 〒

☎

しん
ぶん 赤旗

2010年2・3月号外
(1952年5月30日 第三種郵便物認可)

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7

TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

お申し込みは、お近くの党事務所または党員か、右記まで。ホームページからも申し込みます。http://www.jcp.or.jp/

民主党
政府は

現場の この 声を聞くべきです

日本共産党

鳩山内閣が発足して5ヶ月。「農政を変えてほしい」という願いに、こたえているでしょうか。目玉とする戸別補償では、現場にとまどいや混乱を広げ、輸入自由化への不安も強まっています。



農産物輸入 これ以上の自由化 ストップ

「とめどない輸入増にストップを!」——農業関係者の最大の願いです。ところが、鳩山内閣は、日米FTA、日豪EPA、WTOなどの自由化交渉に「積極的」です。「戸別所得補償」をやるから大丈夫という声もありますが、これでは農業を守ることはできません。「農業の再生」というなら、自由化をきっぱりやめるべきです。

戸別補償 地域の実情におうじたものに

「全国一律補てんでは、生産コストの高い地域では赤字は解消できない」「転作助成が大幅にダウンし、作付けの見通しが立たない」——現場の実態を無視した戸別所得補償モデル事業に、関係者の不安やとまどいが広がっています。米の所得補償や転作助成は、地域の実態を加味できる柔軟な仕組みにし、安心して増産に取り組める水準で補てんすべきです。

コメ価格 「米の棚上げ備蓄」の公約まもれ

「09年産の米価暴落をとめてほしい!」——鳩山内閣は、切迫したこの願いにまず耳を貸すべきです。暴落の野放しでは、経営は安定せず、「所得補償」の財源もなくなります。「米300万トンの棚上げ備蓄」という民主党の選挙公約を、いまこそ実現すべきです。

農業予算 自公政権より減らすのか

「国民の命を支える農業の予算が、軍事費の半分でいいのか」——農水予算は自公政権で毎年削減され、国の予算に占める比率は09年度は4.9%に。ところが鳩山内閣はさらに4.6%(10年度)に引き下げました。これでは、戸別所得補償による“農業の再生”も絵に描いたモチです。国の基幹産業にふさわしく、予算も抜本的に増額すべきです。

